

町田市庁舎新築工事  
総合評価・条件付き一般競争入札提案書

提案と達成方法及び検証方法について

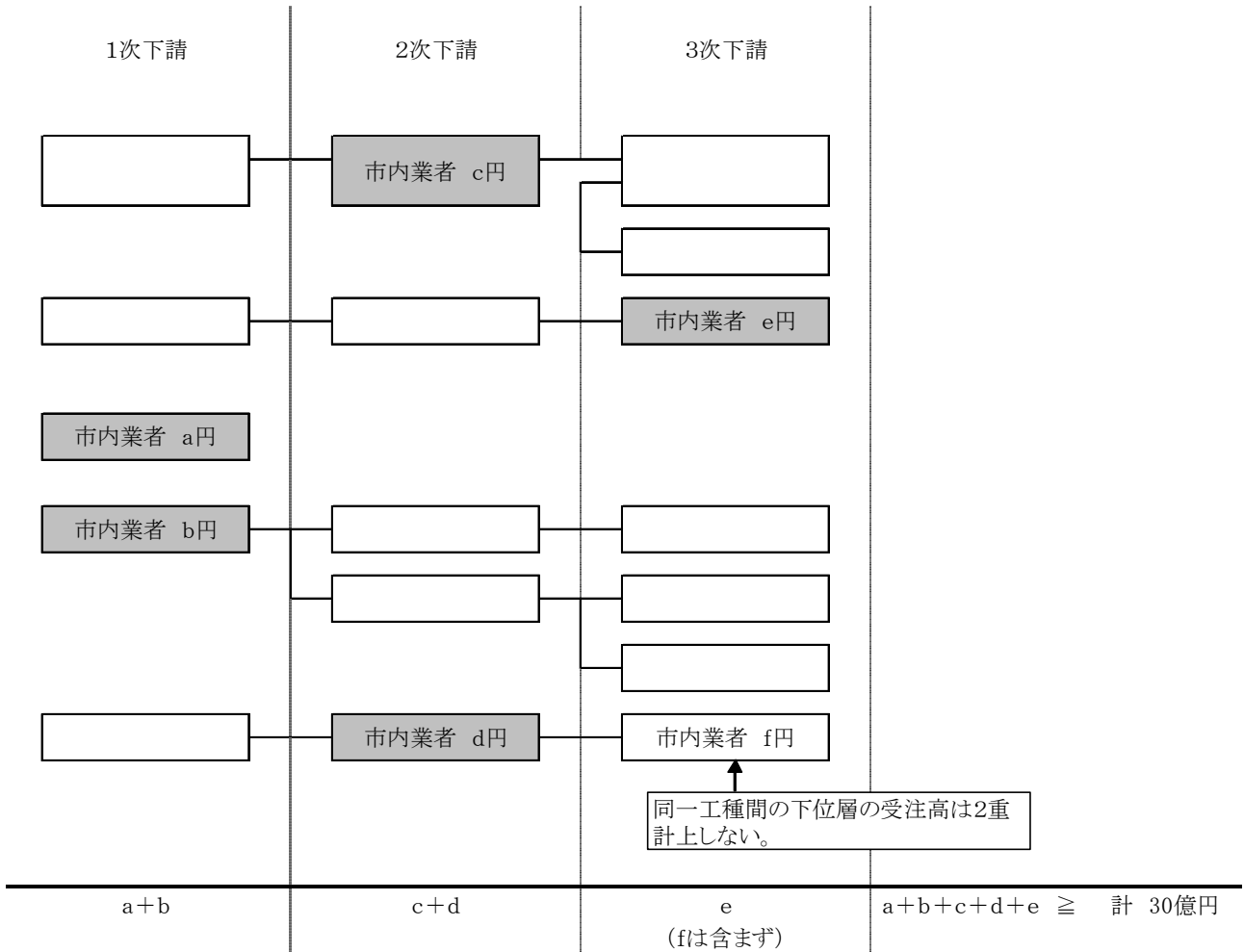
2009年10月6日

鹿島建設株式会社 東京土木支店

市内業者の活用について（様式11）

整理番号	提案項目名	達成方法	検証方法
1	町田市及び商工会議所との地域活性化のための連携組織づくり	町田市、町田商工会議所、現場事務所の3者にて地域活性化のための「市内業者活用ワーキング」を組織化します。	「市内業者活用ワーキング」を組成し、年度毎に活動状況及び決定事項を報告書として市に対し提出いたします。市の要請があれば、適宜、暫定報告に対応いたします。
2	市内建設業者の積極的な活用	<p>全直接工事のうち30億円を市内業者へ発注いたします。</p> <p>*注 1 全直接工事に関わる取引のうち、重層関係にあるものは上位層の発注額を計上数値とし、下位層の発注金額を2重計上しないことを前提とします。</p> <p>受注金額のカウント方法 - 別紙 1</p> <p>町田市庁舎新築工事 市内業者活用内訳 - 別紙 2</p>	発注者から受注者への発注書または契約書(写し)とそれに対応する受注者発行の受領証明書の累計30億円以上を町田市へ提出することを以って検証とします。
3	産業分野全般にわたる市内業者の活用 1. 施工関連	資材調達、現場清掃、運送業務は、建設業者への発注比率と同等の約30%を市内業者に発注・委託します。	当該工事事務所にて支出した経費については1件明細(業者名、金額明示)の集計表を作成し年度毎に市へ提出いたします。また、不定期の中間確認の際は領収書、振込証等の証書(写し)の提示にて対応いたします。
4	産業分野全般にわたる市内業者の活用 2. 飲食宿泊	作業所における飲食費及び宿泊費については市内業者を100%活用します。	
5	産業分野全般にわたる市内業者の活用 3. 卸売小売	作業所における事務用品・備品・日用品の調達は市内業者を100%活用します。	
6	産業分野全般にわたる市内業者の活用 4. サービス	作業所におけるクリーニング利用・タクシー利用・広告・印刷等は、市内サービス事業者を100%活用します。	

市内建設業者-受注額のカウント方法



1. 同一工種間の発注は上位層の発注額を計上数値とし、下位層の発注金額を2重計上しない。
2. 発注者から受注者への発注書または契約書(写し)とそれに対応する受注者発行の受領証明書を町田市へ提出することを以って検証とする。

## 町田市庁舎新築工事市内業者活用内訳

単 位： 億円

工種	仮設工事	躯体工事	仕上工事	電気設備	衛生設備	空調設備	経 費	合 計
発注予定額	1.00	15.00	11.00	1.15	0.33	1.02	0.50	30.00
内容	安全 共通仮設 直接仮設 機械	山止・土工 杭・地業 型枠 コンクリート 鉄筋 鉄骨 耐火被覆	ブロック・レンガ 防水 屋根 金属・板金 石・擬石 タイル カーテンウォール 金属建具 木製建具 ガラス 左官 塗装 木工事 内装 雑 家具・備品 解体・移築 屋外					

※発注予定額の工種別の割振りは現時点での想定額であり、今後実態に合わせて修正する。

市内業者育成の方策について(様式12)

整理 番号	提案項目名	達成方法	検証方法
1	建設業経営相談会及び技能講習会の開催	市及び町田商工会議所建設業部会と協議の上、実施計画書を作成します。実施計画書について町田市より承認をいただいた上で、実施いたします。	年度毎に実施実績、成果を報告書の形で作成し、市より評価、承認いただきます。
2	「就職フェア」における地域人材発掘や建設業イメージアップへの協力		
3	「町田市異業種交流会」及び「産業祭」への参画による市内業者との直接交流	市及び町田商工会議所と協議の上、実施計画書を作成します。実施計画書について町田市より承認をいただいた上で、実施いたします。	
4	新庁舎本体工事における市内建設業者の育成	市及び町田商工会議所建設部と協議の上、実施計画書を作成します。実施計画書について町田市より承認をいただいた上で、実施いたします。	
5	新庁舎別途工事を担当する建設業者の育成(立体駐車場・庁舎内装・外構工事等との連携)		

工事状況の市民への公開方法の提案（様式13）

整理番号	提案項目名	達成方法	検証方法
1	現場WEBサイト及び工事担当者専用ブログの開設	<p>・町田市HP「新庁舎計画」とのリンクした専用サイトを開設し、工事進捗写真、現場イベント情報、工事工程・大型車両運行予定などの幅広い工事情報を提供します。</p> <p>・工事担当者による専用ブログでは、現場に関する日々の出来事を工事日誌の形で分かりやすく市民の方々にお伝えします。</p>	対象項目の現物確認により確認できません。
2	現場かわら版の発行及びまちテレ現場中継の放送	<p>・現市庁舎、市民ホールをはじめ、町田駅などの公共施設に紙面を設置いただくとともに、周辺町内会や商店会等の地域組織を通じて市民の方々に配布します。</p> <p>・町田市広報TVとの連携により、市内ケーブルテレビ各社による広報番組「まちテレ」や町田市オフィシャルチャンネルでの現場紹介や中継・録画放送を行います。</p>	発行物の現物確認、及びまちテレ現場中継の放送における共同作業において確認していただくことができます。
3	工事インフォメーションブースの設置	<p>・現市庁舎1階に小ブースを設置し、プロジェクトのこれまでのプロセス、工事進捗状況やスケジュールなどの工事内容、現場イベント情報、技術紹介、施工Q&amp;A等の最新情報を写真やパネルを用いて展示します。</p> <p>・工事現場の仮囲いの一部にインフォメーションコーナーを設置し、工事工程や車両運行計画などの工事情報を公開します。</p>	対象項目の現物確認により確認できません。
4	透明仮囲いエリア及び定点カメラの設置	<p>・町田駅前通り沿いの仮囲いに透明なガラス窓を設置します。</p> <p>・仮囲い上部に現場の全貌を見渡せる定点カメラを設置します。</p>	対象項目の現物確認により確認できません。
5	施工ワークショップの開催	<p>・公募市民や新庁舎建設用地の森野地区等の近隣住民の方々を中心に、外壁タイル貼りやモックアップ部位の施工参加・体験、ミニ重機試乗、市民から公募抽選で選ばれた「一日現場所長」の体験レポート等、多彩なワークショップメニューを実施します。</p> <p>・現場見学、施工状況に関する市民の方々との意見交換を実施します。</p>	実施時の立会い、及び実施結果報告書により確認できます。
6	施工体験会の実施と記念植樹の実施	<p>・町田市内小中学校の年間行事の一部である社会科見学や職業体験の場として、建設作業や施工技術を学ぶ機会を提供します。</p> <p>・街区を包む緑、屋上庭園やアトリウム内の植栽の一部について、公募市民による記念植樹を実施します。</p>	

整理 番号	提案項目名	達成方法	検証方法
7	現場仮施設におけるメッセージボード及び市民ギャラリーの設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町田駅前通り沿いやJR横浜線側の仮施設外面部を看板化し、市民向けのメッセージボードや工事進捗状況ボードとして活用します。</li> <li>・町田駅前通り沿い(将来の移設後バス停付近)に、森野保育園、原町田幼稚園、町田市立第一小学校、第四小学校、第一中学校等の町田市内の保育園、幼稚園、小中学校の園児・児童・生徒による絵画等を展示できるスペースを確保します。</li> </ul>	対象項目の現物確認により確認できません。
8	市民交流イベント及び市民参加の工事式典の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町田市のイベントや周辺町内会のイベントと連動した形で、盆踊り大会、クリスマスイルミネーション、餅つき大会等を実施します。</li> <li>・工事式典には、近隣の森野地区の方々をはじめ幅広い市民の方々に参加していただきます。</li> </ul>	実施時の立会い、及び実施結果報告書により確認できます。

工事期間中の周辺環境への配慮に向けた提案(様式14)

整理番号	提案項目名	達成方法	検証方法
1	工事車両運行ルートによる渋滞緩和・安全対策	道路状況等の調査にもとづき、関係者と協議の上、工事車両運行計画を立案します。車両配送業者への指示・報告の徹底により、計画に遵守した運行を確実にを行います。	車両運行計画及び車両運行日報等により確認できます。
2	工事車両運行時間による渋滞緩和・安全対策		
3	搬出入ゲート周辺の安全・環境対策	総合仮設計画図を作成し、計画図にもとづき仮設工事を実施します。	安全パトロール報告書や工事写真により確認できます。
4	仮囲いによる安全・環境対策		
5	クレーンの安全・環境対策	総合仮設計画図及び作業標準を作成し、実施状況を管理します。	安全パトロール報告書や工事写真により確認できます。
6	建設機械からの騒音・振動対策	騒音振動シミュレーションを行い、騒音・振動対策を立案し、実施します。	騒音・振動の測定結果報告書より確認できます。
7	外部養生による飛散・飛来落下防止対策	総合仮設計画図を作成し、実施状況を管理します。	安全パトロール報告書や工事写真により確認できます。
8	工事作業時間外(夜間・休日)の安全対策	実施計画書を作成し、確実に実施します。	安全パトロール報告書により確認できます。
9	集中豪雨・地震等災害時の現場事故防止対策		
10	社員・作業員教育による安全対策、周辺環境保全対策の周知徹底		
11	周辺環境を保全する現場体制の構築	総合仮設計画図を作成し、計画図にもとづき仮設工事を実施します。	総合仮設計画図及び工事写真より確認できます。
12	周辺街区に配慮した快適なアメニティ環境の創出		



工事期間中の廃棄物の処分等に関する環境配慮に向けた提案(様式15)

整理番号	提案項目名	達成方法	検証方法
1	[ゼロエミッション対応:その1] グリーン調達の積極的推進による環境負荷低減	町田市及び設計者と協議の場を設定していただき、建材・工法を選定します。	建材選定の承認をいただき、実施状況については、工事写真により確認できます。
2	[ゼロエミッション対応:その2] 建設段階に排出される産業廃棄物の現場内ゼロエミッション活動	実施計画書を作成し、計画にもとづき確実に実施します。関係業者への新入場時の教育を徹底し、実施状況についても管理します。	分別状況について工事写真により確認できます。
3	[ゼロエミッション対応:その3] 建設段階に排出される産業廃棄物のトレーサビリティ向上	電子マニフェスト、リサイクル伝票による管理とともに、廃棄物搬出ルート of 追跡・目視確認をします。	電子マニフェスト帳票、リサイクル伝票及び追跡調査写真により確認できます。
4	[ゼロエミッション対応:その4] 将来建物解体時のリサイクル率向上に配慮した建材・工法の選定	町田市及び設計者と協議の場を設定していただき、建材・工法を選定します。	建材選定の承認をいただき、実施状況については、工事写真により確認できます。
5	リサイクル建材の採用によるCO2排出削減		
6	資材運搬の効率化・作業量の削減によるCO <sub>2</sub> 排出削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設ロジスティックスを導入します。</li> <li>・工場での事前切断(プレカット)、梱包材の簡素化をはかり、運送効率の向上に努めます。</li> </ul>	<p>ロジスティックスセンターの実施状況を写真により確認できます。</p> <p>プレカット、梱包材の簡素化されたものの写真で確認していただきます。</p>
7	低燃費型の建設機械・仮設照明機器の導入によるCO <sub>2</sub> 排出削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリート打設時にツインドライブコンクリートポンプ車を適時使用いたします。</li> <li>・現場内で使用する高所作業車やフォークリフトは電動タイプに置き換えが可能なものは積極的に導入いたします。</li> <li>・外周照明、地下大空間照明等には従来使用していた水銀灯に替えて高効率照明器具であるメタルハライドランプ、LEDランプを使用します。また、白熱灯に替えて蛍光灯を使用します。</li> </ul>	使用状況を工事写真より確認できます。
8	再生可能エネルギーの利用によるCO <sub>2</sub> 排出削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小型風力発電システム:定格出力1KWの小型風力発電機を2010年4月から1年間以上設置いたします。</li> <li>・太陽光発電システム及びCO<sub>2</sub>排出削減量モニター表示:3KWの太陽光発電パネルを仮設事務所の屋上に設置いたします。</li> <li>・CO<sub>2</sub>排出削減量モニター表示は工事インフォメーションコーナーに設置し、電子ペーパー等で表示いたします。</li> </ul>	<p>小型風力発電機を目視で確認していただきます。また、発電した電力を報告書として提出いたします。</p> <p>太陽光発電パネルとCO<sub>2</sub>排出削減量モニターを写真で確認していただきます。また、発電した電力を報告書として提出いたします。</p>

整理 番号	提案項目名	達成方法	検証方法
9	省エネ運用によるCO <sub>2</sub> 排出削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当現場に搬出入の多い仮設資材の運搬用トラックに、省燃費運転支援のためのエコドライブナビゲーションを取り付けます。</li> <li>・省エネルギー教育を新規入場者教育時に実施いたします。</li> </ul>	<p>エコドライブナビゲーションを取り付けた車両の写真と、エコドライブナビゲーションのレポートより確認できます。</p> <p>新規入場者教育用資料、及び、新規入場者教育報告書により確認できます。</p>
10	カーボンマイナス施工の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事事務所で使用する169t-CO<sub>2</sub>(30万KWh)電力分をグリーン電力認証発行事業者より購入いたします。</li> <li>・具体的には、工事の進捗にあわせ2009年度5万KWh、2010年度10万KWh、2011年度15万KWh、計30万KWh購入いたします。</li> <li>・鹿島グループで実施している森林整備やバイオディーゼルの製造・利用などの活動をオフセットクレジット(J-VER)制度を活用しクレジット認定し、当工事に活用する予定ですが、不足分が発生する場合は、京都クレジット、国内クレジット、オフセットクレジット(J-VER)などのクレジットを他社から調達します。</li> </ul>	<p>グリーン電力認証発行事業者より発行されますグリーン電力証書にて確認できます。</p>

工物品質を確保するための提案(様式16)

整理番号	提案項目名	達成方法	検証方法
1	マイルストーンと品質確保重点項目の設定による品質管理	マイルストーンと品質確保重点項目を明記した総合工程表を作成し、実施状況を管理します。	総合工程表を提出します。実施結果報告書より確認できます。
2	QC工程図の活用による工物品質の管理	各工種についてQC工程図を作成します。	各工種のQC工程図及び実施結果報告書より確認できます。
3	「鉄筋施工図」の活用による鉄筋工の品質確保と適正なかぶり厚さの確保	鉄筋施工図を作成します。	鉄筋加工図及び検査結果報告書より確認できます。
4	コンクリートの品質確保(コンクリートのひび割れ抑制対策)	各工種についてQC工程図を作成します。	各工種のQC工程図及び実施結果報告書より確認できます。
5	コンクリートの品質確保(暑中コンクリートの温度抑制対策、コールドジョイントの抑制対策)		
6	鉄骨搬入・受入れに関する品質管理		
7	X5-Y6～Y11鉄骨柱の建方精度管理		
8	建方精度に関する品質管理		
9	現場溶接に関する品質管理		
10	大型タイルの剥落防止対策		
11	防水性能の確保(誘発目地、集中豪雨対策、落葉対策)		
12	設備配管漏水防止		
13	配管工事における作業員の適正配置と教育	作業員の新規入場時に基本技能確認試験及び教育を実施したうえで、作業指示により適正配置を行います。	基本技能確認試験シート及び作業指示書により確認できます。
14	音響検討チームの編成	支店・本社の関連部署から担当者を選定し、音響検討チームを組織します。施工関係者で事前周知会を開催し、QC工程図による品質管理を行います。	各工種のQC工程図及び実施結果報告書より確認できます。
15	アフターサービス及び維持管理支援	竣工後、提案内容のアフターサービス体制を構築します。	竣工時の引渡し書類により、アフターサービスの内容を確認できます。保証期限については、契約書に記載します。

環境品質向上と環境負荷削減を目指した提案(様式17)

整理番号	提案項目名	達成方法	検証方法
1	LCEM手法を活用した設備システムの試運転調整・運用支援	関係者・関連業者との協議の上、実施計画書を作成します。実施計画書について町田市及び設計者に承認をいただいた上で、作業を行います。	実施結果報告書により確認できます。設計変更を伴うものは町田市及び設計者に承認をいただきます。
2	BMSデータの活用による試運転調整		
3	BMSの活用によるシーズン切り替えと施設管理者への指導		
4	BMSデータの活用による運用実績評価と不具合の改善		
5	CAFMによる設備機器の保全管理の合理化		
6	シミュレーションと実測によるアトリウムの空調計画の検証		
7	床吹出口の気流特性と発生騒音のモックアップ等による検討		
8	アトリウムの良好な音環境の創出		
9	緑の棚プランターモックアップ及び植栽試験		
10	シックハウス症候群対策		